

エストロゲン受容体陽性 HER2 陰性乳癌に対する S-1 術後療法・長期予後に関する多施設共同観察研究：POTENT 附随研究

へのご協力をお願い

(研究の目的)

エストロゲン受容体陽性かつ HER2 陰性の原発性乳がんを対象とし、標準的な術後内分泌療法単独に比べて、標準的な術後内分泌療法と S-1 を併用することにより、再発抑制効果が高まることが、S-1 術後療法ランダム化比較第 III 相試験「(試験略称名：POTENT)」で証明されました。

しかし中間解析で早期の有効中止となったことから、予定していた追跡期間の全生存期間、再発の有無とその後の治療内容または再発以外の癌病変が確認された症例の治療内容と経過についての情報が得られていません。そのためこれらを収集する観察研究が研究代表者（京都大学戸井雅和教授）により企画されました。

(研究対象)

POTENT 試験に同意された上で登録された患者さん

(研究期間)

2021 年 2 月～4 月

(研究方法)

本観察研究のための調査票を用いて、カルテに記載された臨床情報を後ろ向きに調査します。そのデータをデータセンターに送ります。

(その他)

調査情報は松江赤十字病院にて厳重に取り扱います。電子情報はパスワード等で制御されたコンピュータに保存します。調査結果は個人を特定できない形でデータセンターに送ります。